

会 議 議 事 録

出席者 近隣住民代表、保護者代表、当ホーム職員、利用者代表、サービス管理責任者

日時

2026/3/2

:

場所

はるのいえ東京A

本日の議題

地域連携推進会議（2025年度）

議事内容

議題1 利用者支援について

【報告】

それぞれの障害の特性に応じた支援を心がけている事や、現在ホームを利用者様の障害の特性、主な支援ニーズを説明。

【出席者の感想・意見】

（保護者代表）

「（自分の子に対して）安定している時はいいが、情緒が不安定な時は頭の中で思い込みが強くなってしまう事がある。スムーズに話す事が中々苦手だが、本人は話をする事は好き。毎日の出来事や気になった事等を少しずつ支援員に話をする事が本人の安定につながっている。スタッフは親よりも手厚く考えて支援して頂いてる点について感謝している。今後の将来の暮らしの点でお願いしたい事としては、部屋の片づけが本人が苦手なので、ホームの支援員さんに少しずつ手伝って欲しい。将来一人暮らしができるようになった時の為に、グループホームにいる間に、本人に片付けの仕方を少しずつ覚えて貰いたいと思っている。」

（利用者代表）

「（自分は）時々幻聴が聞こえるが、それをホームの支援員さんに相談して話を来てもらえると、とても安心出来る。就労からの一人暮らしを目指しているので、そういった部分でもアドバイスを貰える事があり、心強い。話を聞いてもらえる環境があるので、メンタル面の安定も保てていると感じる。」

議題2 訪問看護の利用について

【報告】

約19名ほどの利用者様が、週1～3回の精神科の訪問看護を利用されている事、精神科訪問看護の実際のケア内容、ホームとの連携の具体例等を報告。

【出席者の感想・意見】

（利用者代表）

「日々の出来事や季節の変わり目などから来るメンタル面の変化等、支援員に言いづらい事がある時に看技師さんに相談できるので、今後も安定した生活の為訪問看護は継続したいと思っている。」

（近隣住民代表）

「近所を歩いていると、ホームの周りでたまに看護師さんであろう方を見かける。ホームの支援員さんだけでなく、医療の専門知識を持った看護師さんも支援に加わってくれていると思うと、近隣に居住する立場からすると2重の安心に繋がっている。」

議題3 ホームの強みについて

【報告】

既に議題に上げた「訪問看護とホームの連携」が一つだが、もう一点の強みとして「食事提供を手作りしている」事のホームとしての強みをメリットやデメリットも交えて報告。

【出席者の感想・意見】

(保護者代表)

「ホームでどのような食事が提供されているのか気になる。アレルギーへの対応や、苦手食材への配慮なども柔軟に対応しているので良いと思う一方で、支援員の負担や、支援員ごとに味付けが変わる点について、利用者さんにはどう評価されているのか」

(利用者代表)

「各支援員さんで食事の傾向は変わるものの、健康が意識されている点はどの支援員さんの料理にも感じるし、支援員さん毎に味が変わる点については、まんべんなくどの支援員さんの料理も美味しいと思っているので、支援員さんごとに味が変わる点は、今の所はむしろ日々の楽しみになっている。」

(当ホーム職員)

「提供の基本は栄養。栄養士を入れているわけではないが、主に野菜・魚・肉等をまんべんなく取り入れるようホームの支援員には共有している。また提供する食事がなるべく直近と被らないように、日々提供した料理の写真を支援員共通の報告アプリにて写真を上げて報告しあっている。」

議題4 今後のホーム側への希望

【出席者の感想・意見】

(保護者代表)

「(自分の子に対して)部屋の片づけ・整理整頓が苦手。今後自立した生活を送れるようになる為に、ホームの支援員さんには、年に1~2回程度でも良いので部屋の片づけの仕方を教えたり手伝ったりして欲しい。」

(近隣住民代表)

「敷地内に喫煙スペースがある点は問題ないと思うが、近隣の人が通りかかった時の見栄えや、近くに小学校がある都合で児童もよく通学している点なども踏まえて、利用時に人数に制限を設けた方がいいと思う。人数が多いと煙も多くなる点もネック。喫煙スペースはなるべく通り側ではなく、敷地の中側に置くとより良いと思う。」

(利用者代表)

「規制が強いホームではないので、ホームに対して特に不満はない。」

決定事項

- ・喫煙スペースや利用人数の見直し。
- ・各利用者の居室スペースの掃除のお手伝いについて、ホームでできる事を考える。

次回会議

未定

場所

未定